

# 岡山オルガノン代表者委員会

## 平成21年度

第1回 平成22年 1月22日(金)

第2回 平成22年 2月25日(木)



## 第1回岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成22年1月22日(金) 15:30~17:30

2 場 所 岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

3 参 加 者 岡山オルガノン代表者委員会委員

### 4 議 題 案

(1) 議長の選出について

(2) 今年度の事業の進め方について

- ・連携評価委員会の委員委嘱および開催 【資料1】
- ・各種運営委員会における協議の継続 【資料2】
- ・今年度の実績報告書・事業報告書等の作成 【資料3】
- ・次年度導入予定のMCU(多地点接続装置)の検討
- ・ホームページおよび広報用パンフレットの作成

(3) 来年度の調書作成および事業内容について

- ・文部科学省からの補助金調書作成準備依頼 【資料4】

(4) 経費および今後のランニングコストについて

- ・回線使用および学習管理システムに関する費用 【資料5】

(5) その他の必要な事項について

### 5 報告事項

- (1) 大学教育連携センター
- (2) 岡山大学オフィス
- (3) 岡山商科大学オフィス
- (4) 中国学園大学オフィス

6 岡山オルガノンの共通計画（この他運営委員会等は随時開催）

2010/02 中旬 文部科学省「平成 22 年度補助金調書等」提出期限

2010/03/14 「第 1 回岡山オルガノン FD・SD シンポジウム」開催

2010/03/15 第 1 回連携評価委員会（大学コンソーシアム岡山代表者会議と同日開催）

2010/04/10 文部科学省「平成 21 年度補助金実績報告書等」作成・提出

7 岡山オルガノン代表者委員会委員および代理出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	欠席
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	出席
岡山学院大学	キャリア実践学部教授	河 崎 雅 人	欠席
岡山商科大学	副学長・産学官連携センター長	大 崎 紘 一	出席
岡山理科大学	総合情報学部教授	竹 内 渉	出席
川崎医科大学	衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠席
	学務課庶務係主任	川 西 礼 美	代理出席
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出席
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	欠席
	教授	柿 原 聖 治	代理出席
吉備国際大学	社会学部長	加 藤 健 次	出席
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小 山 悦 司	出席
くらしき作陽大学	音楽部教授	加 藤 充 美	出席
山陽学園大学	社会サービスセンター長	澁 谷 俊 彦	欠席
	事務局長	玉 木 誠	代理出席
就実大学	人文科学部教授	桑 原 和 美	出席
中国学園大学	学長補佐	飯 田 哲 司	欠席
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出席
大学教育連携センター	センター長	木 村 宏	出席
大学教育連携センター	コーディネーター	佐 藤 大 介	出席
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出席
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出席
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠席

# 第1回岡山オルガノン代表者委員会 議事録

日 時：平成22年1月22日（金）15：32～17：38

場 所：岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

出席者：5ページ別紙参照

挨拶：

岡山理科大学波田学長より、挨拶がなされた。

議題案：

木村センター長より、本委員会について以下の説明がなされ、了承された。

- ・本委員会は、事業全体の施策を決める最高の決定機関として位置づけられている。
- ・大学教育連携センター・サテライトオフィス担当者会議から提出された議案の審議、事業の定期的な進捗状況の検証、事業全体の方針策定を目的とし、年2回から3回程度の開催を予定している。

## 1. 議長の選出について

佐藤コーディネーターより、本委員会について要項を定めていないため、今回の進行役として、暫定的に木村センター長が議長を務めてもよいかとの提案がなされ、了承された。

## 2. 今年度の事業の進め方について

### (1) 連携評価委員会の委員委嘱および開催

佐藤コーディネーターより、「資料1」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・「資料1」は、当センターより平成21年度連携評価委員へ送付予定の委嘱依頼状である。
- ・連携評価委員会要項（案）、連携評価委員会名簿（案）について、ご承認いただきたい。

### (2) 各種運営委員会における協議の継続

木村センター長より、「資料2」に基づき説明がなされた。

- ・桑原委員より、各運営委員会のすみ分けを整理した資料をいただきたいとの発言がなされ、木村センター長より、各委員会の要項を作成して定義するとの回答がなされた。

### (3) 今年度の実績報告書・事業報告書等の作成

佐藤コーディネーターより、「資料3」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・「資料3」は昨年度の戦略GPに配布された実績報告書の様式だが、各大学で作成する部分についてはご参照いただきたい。
- ・小山委員より、全大学で共通する部分に関しては共通フォーマット等で対応していただきたいとの発言があり、佐藤コーディネーターより、共通部分に関してはセンターで作成し、各大学に連絡するとの回答がなされた。

### (4) 次年度導入予定のMCU（多地点接続装置）の検討

佐藤コーディネーターより、来年度MCU（多地点接続装置）の購入を検討しており、現在、業者と仕様・金額等について折衝中である旨の報告がなされた。

### (5) ホームページおよび広報用パンフレットの作成

佐藤コーディネーターより、以下の説明がなされ、了承された。

- ・単位互換科目の履修手続、開講科目一覧等を参照できるようなホームページのご提案を岡山商科大学オフィスよりいただいております、現在、そちらを組み込んだ新しい形のホームページを作成中である。
- ・パンフレットおよびポスターについては、今年度末までの作成を目指し、現在準備を進めている。配布先として、連携校の全教職員、岡山県下の高等学校、大学コンソーシアム、平成20年度・21年度に採択された戦略GP、その他関係機関等を検討している。
- ・桑原委員より、パンフレットは、紙ではなくデータで配布していただきたい旨の要望がなされた。

### 3. 来年度の調書作成および事業内容について

#### (1) 文部科学省からの補助金調書作成準備依頼

佐藤コーディネーターより、「資料4」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・「資料4」は、先日、文部科学省よりメールで送付された「22年度の補助金調書等の作成準備について」の資料であるので、ご参照いただきたい。
- ・来年度、各大学でどのような補助金経費が必要になるか、再度ご検討いただきたい。

### 4. 経費および今後のランニングコストについて

#### (1) 回線使用および学習管理システムに関する費用

佐藤コーディネーターより、「資料5」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・テレビ会議システムを実施するに当たり、B フレッツの回線使用料である「フレッツサービス」と IP-VPN サービス利用料である「フレッツ・グループ」の経費負担が、平成22年2月1日より発生する。
- ・「フレッツサービス」の月額利用料金 8,085 円は各大学でお支払いいただいているが、「フレッツ・グループ」の契約は代表校である岡山理科大学が行っているため、月額利用料金 58,800 円を 15 大学で均等割りした額 3,920 円を岡山理科大学より各大学に請求させていただく。
- ・VOD 方式の遠隔事業を実施するに当たり、Momotaro System のユーザーライセンス費用（200 ユーザーライセンス）7,500 円と、サーバー管理やメンテナンス等の外部委託費用 22 万 271 円の経費負担が、平成 22 年 4 月 1 日より発生する。
- ・木村センター長より、外部委託費用について補助事業期間中は委託費として計上し、ユーザーライセンスは履修学生数に応じて各大学にご負担いただきたい旨の提案がなされ、大崎委員より、可能ならば補助事業期間中は全額補助金で計上してほしいとの要望がなされた。木村センター長より、来年度の調書作成の段階で、全体の計画を考慮しながら検討し、再度ご提案させていただく旨の発言がなされた。

### 5. 岡山オルガノンの共通計画

佐藤コーディネーターより、配布資料に基づき報告がなされた。

報告事項：

#### 1. 大学教育連携センター

佐藤コーディネーターより、以下の報告がなされた。

- ・平成 21 年 11 月 29 日（日）に「大学教育連携センター設立記念シンポジウム」を開催し、連携大学の教職員、一般の方を含め 166 名の方にご参加いただいた。シンポジウムでは、立命館大学木野茂教授に FD の進め方についてご講演いただくとともに、各オフィス担当者がオルガノンの取組概要の説明を行った。
- ・ e-Learning 運営委員会を設置し、現在、連携大学より委員を募集中である。

## 2. 岡山大学オフィス

遠山コーディネーターより、配布資料「岡山オルガノン岡山大学オフィス活動報告」に基づき報告がなされた。

- ・平成 22 年 3 月 14 日（日）に「第 1 回岡山オルガノン FD・SD シンポジウム」を開催する予定である。授業評価アンケートの現状報告を各大学に行っていただくため、報告者 1 名の選出要請がなされた。
- ・平成 22 年 1 月 19 日（火）に第 1 回学士課程教育連携委員会を開催した。

## 3. 岡山商科大学オフィス

大崎岡山商科大学オフィス室長より、配布資料「岡山オルガノン岡山商科大学オフィス」に基づき説明がなされ、了承された。

- ・平成 21 年 12 月 8 日（火）に第 1 回双方向コンテンツ委員会を開催した。
- ・平成 22 年 1 月 18 日（月）に、岡山商科大学を講義発信校とした配信テストを、岡山理科大学、岡山県立大学、岡山学院大学、就実大学との間で実施した。
- ・配布資料「岡山オルガノンホームページ構成（岡山商科大学案）」のように、岡山オルガノンのホームページにライブ VOD 開講案内（仮称）を掲載させていただきたい。
- ・木村センター長より、ライブ配信科目について、連携大学間の特定曜日・時限における開講時間の統一を検討したい旨の発言がなされた。
- ・木村センター長より、ライブ配信科目の試験日・時間を各大学で統一させる必要があるのではとの発言がなされ、大崎岡山商科大学オフィス室長より、各大学の試験日で実施するよう検討している旨の回答がなされた。
- ・木村センター長より、今年度設置したシステムでは 5 大学までしか配信できない。来年度に多地点接続装置を導入し、後期から 15 大学すべてに配信できる予定である。
- ・木村センター長より、来年度から岡山理科大学の「岡山学」を配信実施する計画であったが、調整ができており、来年度後期に試験配信、平成 23 年度に正式配信したい旨の発言がなされた。

## 4. 中国学園大学オフィス

佐藤コーディネーターより、配布資料「中国学園大学オフィス【社会人基礎力】進捗状況報告」に基づき報告がなされた。

- ・実践的キャリア形成講座の続編となるプログラム案を作成し、そのプログラム案をもとに企業や大学、高校等で実践・検証を行っている。
- ・キャリア指導プロフェッショナルチーム組織化に向け、講師候補者と直接折衝を行っている。

- 実践的キャリアアップ委員会は、キャリア指導プロフェッショナルチームがある程度組織化できてから、各大学に委員選出のお願いをする予定である。
- 社会活動参画委員会は、商科大学の地域活性化委員会と内容が重なっているのではとのご意見があり、この委員会の組織化が必要かどうか検討中である。

## 出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	欠席
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	欠席
岡山学院大学	キャリア実践学部教授	河 崎 雅 人	欠席
岡山商科大学	副学長・産学官連携センター長	大 崎 紘 一	出席
岡山理科大学	総合情報学部教授	竹 内 渉	出席
川崎医科大学	衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠席
	学務課庶務係主任	川 西 礼 美	代理出席
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出席
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	欠席
	教授	柿 原 聖 治	代理出席
吉備国際大学	社会学部長	加 藤 健 次	出席
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小 山 悦 司	出席
くらしき作陽大学	音楽部教授	加 藤 充 美	出席
山陽学園大学	社会サービスセンター長	澁 谷 俊 彦	欠席
	事務局長	玉 木 誠	代理出席
就実大学	人文科学部教授	桑 原 和 美	出席
中国学園大学	学長補佐	飯 田 哲 司	欠席
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出席
大学教育連携センター	センター長	木 村 宏	出席
大学教育連携センター	コーディネーター	佐 藤 大 介	出席
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出席
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出席
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠席





## 第2回岡山オルガノン代表者委員会

1 日 時 平成22年2月25日(木) 11:00~12:30

2 場 所 岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

3 参加者 岡山オルガノン代表者委員会委員

### 4 議題案

(1) 議長の選出について

(2) 岡山オルガノン代表者委員会要項について 【資料1】

・委員長の選出について

(3) 平成22年度補助金調書等について

・作成経緯の説明

・平成22年度補助金調書等について 【資料2-1】

・平成23年度の事業展開について 【資料2-2】

(4) 経費および今後のランニングコストについて 【資料3】

・LMS ユーザーライセンスに関する費用

・多地点接続装置に関する費用

(5) 連携評価委員会について 【資料4】

(6) 実績報告書の作成について 【資料5】

(7) その他の必要な事項について

### 5 岡山オルガノンの共通計画 (この他運営委員会等は随時開催)

2010/03/02 文部科学省「平成22年度補助金調書等」提出締切

2010/03/14 「第1回岡山オルガノンFD・SDシンポジウム」開催

2010/03/15 「第1回連携評価委員会」開催 (大学コンソーシアム岡山代表者会議と同日開催)

2010/04/10 文部科学省「平成21年度補助金実績報告書等」作成・提出

2010/04/30 文部科学省「支出簿、対比表、各種調書」作成・提出

## 6 岡山オルガノン代表者委員会委員および代理出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	出席
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	欠席
	事務局主幹	倉 田 太 吾	代理
岡山学院大学	キャリア実践学部教授	河 崎 雅 人	欠席
	事務部長、経理課長	高 田 豊	代理
岡山商科大学	副学長・産学官連携センター長	大 崎 紘 一	欠席
	産学官連携センター主任	中 村 裕	代理
岡山理科大学	総合情報学部教授	竹 内 渉	出席
川崎医科大学	衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠席
	庶務係主任	川 西 礼 美	代理
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出席
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	出席
吉備国際大学	社会学部長	加 藤 健 次	
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小 山 悦 司	出席
くらしき作陽大学	音楽部教授	加 藤 充 美	出席
	教育支援室室長	松 下 訓 康	陪席
山陽学園大学	社会サービスセンター長	澁 谷 俊 彦	出席
就実大学	人文科学部教授	桑 原 和 美	出席
中国学園大学	学長補佐	飯 田 哲 司	欠席
	経理課事務	小 林 正 明	代理
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出席
大学教育連携センター	センター長	木 村 宏	出席
	コーディネーター	佐 藤 大 介	出席
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出席
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出席
	事務補佐員	荒 木 智 子	出席
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠席

## 第2回岡山オルガノン代表者委員会 議事録

日 時：平成22年2月25日（木）11：00～12：40

場 所：岡山理科大学 第27号館 2階 セミナー室

出席者：3ページ別紙参照

議 題 案：

### 1. 議長の選出について

佐藤コーディネーターより、木村センター長を議長に推薦したい旨の提案があり、提案どおり了承された。

### 2. 前回議事録（案）の確認

前回議事録（案）の確認がなされ、原案どおり了承された。

### 3. 岡山オルガノン代表者委員会要項について

#### （1）岡山オルガノン代表者委員会要項について

木村センター長より、「資料1」に基づき説明がなされ、原案どおり了承された。

#### （2）委員長の選出について

互選により、木村委員が委員長に選出された。

### 4. 平成22年度補助金調書等について

#### （1）平成22年度補助金調書等について

佐藤コーディネーターより、「資料2-1」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・テレビ会議システムを15大学同時に接続するための備品として、多地点接続装置一式を購入し、岡山理科大学に来年度前期中に導入する予定である。
- ・テレビ会議システムで使用する液晶モニター、プロジェクター等のライブ型遠隔授業表示装置一式を7大学で購入する予定である。
- ・e-Learning用撮影カメラ一式を3大学で購入する予定である。
- ・3月2日に文部科学省へ提出するので、変更等あればそれまでにご連絡いただきたい。
- ・委員より、連携大学が均等な条件で最善の設備備品を導入できるようにしてほしい、受講者が欠席した場合の対応など、連携大学で共通にかかる部分に補助金を優先して配分していただきたい等の要望がなされた。

#### （2）平成23年度の事業展開について

佐藤コーディネーターより、「資料2-2」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・平成23年度は事業の最終年度に当たるので、将来構想委員会の設置、事業報告会の実施等を追加計画として盛り込んでいる。
- ・ライブ型遠隔授業表示装置一式、e-Learning用撮影カメラ一式を全大学で購入する予定である。
- ・平成22年度補助金調書に記載する平成23年度補助金予定額は、この資料に基づき「70,339千円」を計上させていただきたい。

### 5. 経費および今後のランニングコストについて

佐藤コーディネーターより、「資料3」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・平成22年度後期より倉敷芸術科学大学サテライトキャンパスで新規に配信を行うため、フレッツ・グループの利用料金を倉敷芸術科学大学に2拠点分お支払いいただきたい。
- ・学習管理システムのユーザーライセンス数を400にした理由は、補助金で購入したe-Learning用パソコン台数が平成22年度分を含めて310台になるためである。
- ・学習管理システムのユーザーライセンス料15,750円に関して、各大学にご負担いただく金額については大学教育連携センターでさらに検討を進める。
- ・連携取組における機器・通信に関する経費として、フレッツサービスの月額利用料金、フレッツ・グループの月額利用料金、学習管理システム(400ユーザーライセンス)の月額利用料金、以上3つの合計金額を各大学にご負担いただきたい。

#### 6. 連携評価委員会について

木村センター長より、「資料4」に基づき説明がなされ、原案どおり了承された。

#### 7. 実績報告書の作成について

佐藤コーディネーターより、「資料5」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

- ・実績報告書は4月上旬に文部科学省に提出する書類であるが、(別紙1)の補助事業の実績および具体的な成果の部分については、連携評価委員会開催前までに大学教育連携センターおよび各サテライトオフィスで作成し、連携大学に送付させていただく。
- ・各大学で記載いただくのは、(別紙2)の費目別収支決算書の部分である。

#### 8. その他の必要な事項について

遠山コーディネーターより、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・定員が150名のため、各大学で10名程度ご参加いただきたい。
- ・各大学で使用している授業評価アンケート用紙を岡山大学オフィスに送付していただきたい。

矢延コーディネーターより、配布資料に基づき報告がなされた。

- ・3月4日(木)に第2回双方向コンテンツ委員会を、3月23日(火)に第1回地域活性化委員会を開催する。テレビ会議システムでの参加を希望される場合はご連絡いただきたい。
- ・単位互換に関するちらし、ライブ配信講義に関するちらしおよびポスターを各大学に配布させていただくので、学生や教職員にご案内いただきたい。
- ・2010年度単位互換履修生募集要項の内容をご確認いただき、修正等あればご連絡いただきたい。また、このデータを来週中に各大学の担当者に送付するので、改めて内容を確認していただきたい。3月中に完成させ、4月にはホームページ上で閲覧できるように準備をしていく。

## 出席者一覧

大 学	所属・職名	氏 名	出欠確認
岡山大学	教育開発センター教授	橋 本 勝	出席
岡山県立大学	デザイン学部教授	子野日 俊 夫	欠席
	事務局主幹	倉 田 太 吾	代理
岡山学院大学	キャリア実践学部教授	河 崎 雅 人	欠席
	事務部長、経理課長	高 田 豊	代理
岡山商科大学	副学長・産学官連携センター長	大 崎 紘 一	欠席
	産学官連携センター主任	中 村 裕	代理
岡山理科大学	総合情報学部教授	竹 内 渉	出席
川崎医科大学	衛生学教授	大 槻 剛 巳	欠席
	庶務係主任	川 西 礼 美	代理
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出席
環太平洋大学	副学長	中 原 忠 男	出席
吉備国際大学	社会学部長	加 藤 健 次	欠席
倉敷芸術科学大学	教育研究支援センター所長	小 山 悦 司	出席
くらしき作陽大学	音楽部教授	加 藤 充 美	出席
	教育支援室室長	松 下 訓 康	陪席
山陽学園大学	社会サービスセンター長	澁 谷 俊 彦	出席
就実大学	人文科学部教授	桑 原 和 美	出席
中国学園大学	学長補佐	飯 田 哲 司	欠席
	経理課事務	小 林 正 明	代理
ノートルダム清心女子大学	人間生活学部教授	加 藤 正 春	出席
大学教育連携センター	センター長	木 村 宏	出席
	コーディネーター	佐 藤 大 介	出席
岡山大学オフィス	コーディネーター	遠 山 和 大	出席
岡山商科大学オフィス	コーディネーター	矢 延 里 織	出席
	事務補佐員	荒 木 智 子	陪席
中国学園大学オフィス	コーディネーター	桑 田 朋 美	欠席